

新規・継続等	新規	分野	人家等に対する地すべり対策 緊急傾斜地崩壊対策		事業番号	11	事業名	地すべり対策				
市町村名	小川村		ふりがな 箇所名	かぐらおか 神楽岡			事業年度 (完了年度は見込み)	H23	年度～	H28	年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	横ボーリング工 L=5,200m 水路工L=1,145m 谷止工N=4基					H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降残実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	横ボーリング工L=450m 水路工L=100m					用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残						
財源内訳	事業費計(千円)	240,000	0	0	12,400	240,000						
	国庫支出金	120,000	0	0	6,200	120,000						
	その他											
	県債	108,000	0	0	5,000	108,000						
	一般財源	12,000	0	0	1,200	12,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部	政策評価課					
						ランク	評価	ランク	評価			
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上	1～9戸	0戸未満	A	8	A	8			
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		3		3			
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設	一般施設	なし		2		2			
		土砂の河川への流入量	10万m3以上	1万～10万m3	1万m3未満		4		4			
			なし				0		0			
	小計					17		17				
	重要性 (10)	交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小	A	5	A	5			
		防災計画上の位置づけ	位置付けあり	位置付けなし			3		3			
		小計							8		8	
	効率性 (10)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上	B/C1.0以上1.5未満	B/C1.0未満	B	4	B	4			
		早期発現度	5年未満	5年～10年	10年以上		2		2			
		代替案の検討	あり	なし			0		0			
		小計							6		6	
	緊急性 (50)	地すべり活動度	顕著な動きがある	軽微な動きがある	動きなし	A	35	A	35			
		地すべり変状	変状あり	変状なし			15		15			
		小計							50		50	
	計画 熟度 (10)	地元の協力	反対意見なし	反対意見あり		A	5	A	5			
		地域からの要望	高い	それほど高くない			5		5			
小計							10			10		
費用対効果(B/C)		1.91	評価の合計			A	91	A	91			
事業 周辺 環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	神楽岡地すべり地は、昭和48年に防止区域の指定となっている古くからの地すべり多発地帯である。平成21年には大規模な地すべりが発生し、村道の道路災害により復旧を行っている。周辺には棚田が多く地下水が豊富であると推定される。地表踏査の結果、潜在的な地すべりブロックが多数あり、ブロック内を流下する溪流により河床が洗掘され斜面が不安定となり地すべりが活動する状況である。区域内には診療所、公民館、村道及び民家が数軒ある。村道は住民にとって唯一の道路であり、被災した場合は孤立化する恐れがある。										
	地域からの要望経緯	平成21年に大規模な変状が起こり、村で道路災害復旧工事を実施している。区域内では道路だけでなく、民家等にも変状が起こっていることから、地元の地すべり対策の要望は高い。										
	事業説明等の経緯	平成21年11月5日に地元説明実施										
	環境・景観への配慮項目	地すべり防止施設は地中構造物が主であり、環境への負荷は極めて小さい。										
	他事業・プロジェクトとの関連	村実施の道路災害復旧工事										
	特記事項	特になし。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他							
部意見	平成21年7月の豪雨で地すべりが発生した。次期降雨により地すべり活動が更に活発化する可能性があることから、緊急性が高い。			政策評価課 意見	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。							